

総合的な学習の時間 「手をつなごう～福祉～」

平塚市立松延小学校



単元（題材）目標

- 学習を通して、手話に関心を持ち、聴覚障がい者の生活について考える。
- 学習を通して、今後自分にできることは何か考える。

（1）実施時期

令和元年6月～12月

（2）対象（学年等・人数）

第4学年2組29名

（3）指導者（教諭・外部講師等）

担任教諭 1名

（4）実施内容

- 手話を知ろう
手話の必要性や種類について知る。図書室にある手話に関する本から必要な情報を得る。
- 指文字を知ろう
指文字表を使って自分の名前を表す。
- 手話クイズをしよう
動物などの簡単な手話を学び、手話クイズを出し合う。

（5）成果

- 総合的な学習の中で福祉について取り組んできたため、手話を生活の中で使う人々がいることを自然と受け止め、自分自身も手話について知りたいと興味を持って学習に取り組む児童が多くいた。
- 一方、自分自身で表現しないと相手に伝わらないものでもあるため、手話の表し方の難しさを感じる児童もいた。
- 自分の名前を指文字で表わせることを知り、手話を身近に感じる児童もいた。

（6）その他

- 総合的な学習の福祉に関する取組の中で最初に体験活動を行った経緯があるが、手話体験を取り入れることをしなかったため、その後の個人での調べ学習において手話に取り組む児童が少なかった。体験の中に手話体験を入れておくことで、さらに手話に興味を持つ児童が増えたのではないかと感じた。また、学習の中で実際に手話について調べ学習にした児童がいたため、講師の方を招聘するなど、学習に広がりを持たせることも必要であったのではないかと考える。